


氏名	関 穎 (カン エイ)	
テーマ	心が通じれば分かり合える	
教室名	高取日本語教室	

みなさん、こんにちは。中国の関 穎 (かん・えい) です。

私の娘は3歳です。今年4月、幼稚園に入りましたが、最初は「行きたくない」と言いました。みんなの言葉がわからないから「一緒に遊ぶ友達がない」といいます。まだ日本語が話せませんでした。

親としては、ちょっと不安です。

ある日、主人が娘に中国語でこう聞きました。

「おしっこしたい時は先生に何ていうの？」

「おしっこ」

「じゃ、先生は何ていったの？」

「ハオダ、行きましょう、って」

「中国語で？」

「そうよ」

娘は、絶対に間違いない、というように答えました。でも、先生は中国語が全然話せません。娘は日本語がわかりません。先生の日本語をどのようにして理解したのでしょうか？

迎えに行ったとき、娘がお昼の給食をきちんと食べているか、先生にたずねました。先生は、初めは日本語で、途中からはジェスチャーだけで、答えてくれました。そして私は、先生の話を理解できました。皆さん、どうしてでしょうか？

ことばは通じなくても、心が通じたら 分かり合える—ということですね。

心が通じ合ったからこそ、娘は先生の優しさを感じ、いろいろな願いをします。私の不安を理解できたから、先生は、ジェスチャーで答えてくれました。相手の立場に立って考え、お互いに信じると、子どもでも大人でも真心で温かさを感じることができるのです。

もちろん、言葉は大事です。毎日アクションスターのように体を使う先生たちは、とても疲れるでしょう。しかし、心が通じ合うから、娘はどんどん言葉をおぼえました。笑っているときは「楽しかったよ」、泣いている子には「泣かないで」、良いことをしたときには「いい子だね」などと声かけるのです。「だめよ」と「ごめんなさい」は、一番早く覚えました。心が通じ合うことは、言葉の勉強でも近道なのです。

心が通じ合えるからこそ、違う国の中で文化のコミュニケーションができます。

皆さんもご存じの絵本「はらぺこ あおむし」やアニメ「となりのトトロ」は、中国でも大人気です。私が中国で買った絵本は、70%が日本の作家のものでした。

世界中の人たちは、大昔から人生を生きていく最高の目標として「真・善・美」の三つを目指してきました。「嘘のない真実、道徳的な正しさ、心の美しさ」です。そして、国や年齢、性別を問わず、真心で自分の夢を叶えようと頑張っているのでしょう。だから、心を通じ合うことができるのです。

私は、そう信じています。

ご清聴、ありがとうございました。